

## ありがとうの伝え方

校長 槇島 良治

暑い1学期も間もなく終わりになります。子どもたちは毎日の学習や生活の中で、日々成長をしております。とても嬉しいことです。また、ここまで子どもたちが大きな事件、事故に巻き込まれることなく、充実した学校生活が過ごせているのは、保護者の皆様のご理解・ご支援のおかげです。大変ありがとうございます。

今回は、私が尊敬する先輩校長よりいただいた資料の中から紹介したいと思います。



その家は、小学校の通学路沿いにありました。タロはその家で飼われていた飼い犬です。子どもたちは動物が大好き。下校する子どもたちにタロはいつも遊んでもらっていました。そんな中に一人の女の子がいました。内気な彼女は帰り道、いつも一人ぼっちで真っ赤なランドセルを重そうに背負って下を向いて歩いていました。彼女がタロの前を通るといつもタロが尻尾を振って、じゃれつきました。女の子はタロと会うのが毎日の楽しみになりました。

そんなある日、タロが病気で亡くなってしまったことと、今までかわいがってくれてありがとうというお礼が書かれた張り紙が出されました。小学校へ通っていた子どもたちはもちろん、女の子はどんなにかさびしく思ったのでしょうか。

「みんな、長い間かわいがってくれてありがとう」という張り紙が出された翌日、その家のポストに、名前の書かれていない1通の手紙が入っていました。

〈タロの飼い主様へ〉

私はタロの友達でした。学校からの帰り道にいっしょに帰る人がいない中、タロは私の手をなめてくれ、とってもあたたかい気持ちになれました。そして、いつものようにタロと会っていると、クラスの子が「いっしょに帰ろう」と、さそってくれました。タロのおかげで犬友達もできました。タロのいない小屋を見るとさみしくてなりません。

〈タロの友達より〉

この手紙を受け取ったタロの飼い主は、新聞の投書欄に返事を出しました。

〈タロの友達さんへ〉

タロはいつもあなたの帰りを待っていました。あなたのような心優しい子と友達になれてタロは幸せでした。お友達ができたんですね。タロもあの世できっと喜んでます。お手紙ありがとう。

〈タロの飼い主より〉

タロの飼い主さんは小学校の通学路沿いにお住まいなのですから、小学校を訪ねて、「こんなお手紙をいただいたので、どうか校長先生、その子を探してお返事を渡してあげてくださいませんか。」ということもできたはずですが、でも、新聞の投書欄を通じて女の子に「ありがとう」を伝えることで、ありがとうの輪とホカホカな思いが大きく広がったと感じます。 (一部修正)

とある町の中で起きた小さな小さな出会いと別れ。そこで生まれた「ありがとう」の温かな心。「ありがとう」の心の伝え方を考えさせられる話だなと思います。

さて、私たちは一日に何回ぐらい「ありがとう」と言ったり、言われたりしているのでしょうか？数えたことはありませんが、全く他人と会わないで一人にいるとき以外は0ということはほとんどないのではないかと思います。

本校でも毎日たくさん「ありがとう」が言ったり言われたりしています。そしていろいろな方法で「ありがとう」が表現されています。とても喜ばしいことです。今後も、感謝の気持ちを様々な形で表せる人間を育てていきたいと思っております。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

# 先輩からどんどん学ぼう!

7月30日(木)、8月13日(木)

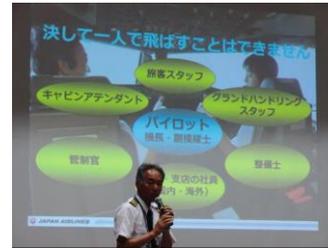
7月30日(木)に講師として松原様と中西様、そして盲導犬の「マンサ(メス5歳)」をお招きして、中学生対象に「先輩から学ぼう」の授業が行われました。また、8月13日(木)には「日本航空(JAL)の国際線機長である遠田様、キャビンアテンダントの神田様をお招きして、小学4年生以上は「夢プロジェクト」、中学生は第2回目の「先輩から学ぼう」の授業が行われました。

どちらの講師からも普段の学習では知ることのできない興味深い話をたくさん聞くことができ、有意義な時間となりました。特に小学生は、パイロットの仕事の内容だけでなくキャリーバッグに入っている持ち物や飛行機のことなどはじめて知ることも多く、驚きの連続となったようです。

学習の後のまとめでは、飛行機にかかわる仕事で大切にしていることへの気付きや、自分の夢について書かれたものが多数ありました。中にはパイロットになりたいという将来への希望をもった子もいたようです。



講演の間もおとなしく伏せている盲導犬マンサ。賢いですね。



ご講演の後、子どもたち1人1人が記念品をいただきました。



今後もキャリア教育の一環として、外部講師を招いての学習を考えています。ご紹介いただける講師の方がいらっしゃいましたら、ぜひお願いいたします。

## みんなで見つけるぞ、奪われた宝物

8月10日(月) 全校レクリエーション



さあ、全校レクの始まりです。「志ポスター」を見つけるぞ!



課題をクリアするためには、班のみんなの協力が大切です。



見事1番早く課題をクリアした子どもたち、記念写真を1枚。



児童生徒会・学級委員会主催の全校レクが8月10日(月)に行われました。ボスである「ブラックデリー」に奪われた「志ポスター」を取り返すために、掃除の縦割り班ごとに分かれて課題に取り組むというストーリー仕立ての内容です。

校内各所に設けられた様々な課題に子どもたちが取り組みました。スプーンリレーやペットボトル倒し、ボール早渡しなど、課題に合格するとブラックデリーの居場所のヒントを示すキーワードがもらえます。そして、3つのキーワードを手に入れると、ポスターの隠された場所が分かるようになります。

上学年の子どもたちが、お兄さんお姉さんぶりを発揮するかと思えば、誰よりも興奮して課題に取り組むなど様々な子どもたちの姿を見ることができました。

小学1年生から中学3年生まで一緒に活動できるのも日本人学校ならではのよさの一つです。今回の全校レクだけでなく、掃除の時間もチームワークよく取り組んでほしいと思います。

児童生徒会・学級委員会の子どもたちはこの日のために時間をさいて準備してきました。楽しい企画を大成功でした。取り戻した「志ポスター」はエントランスに掲示してあります。学校においての際にぜひご覧ください。

# 文部科学副大臣が来校

8月5日(水)、文部科学副大臣の藤井基之(ふじいもとゆき)様が本校を訪問され、学校の様子や子どもたちの学習ぶりをご覧になりました。

藤井様は、8月4日(火)から8日(土)までインドを訪問され、その日程の中に日本人学校の様子を見ていただく今回の機会が設けられました。

訪問は10:20~11:15の約1時間で短いものでしたが、校長より本校の概要説明を受けられた後、校舎内を回られて校舎の様子をご覧になりました。新校舎で学習する子どもたちの学習ぶりを参観され、1年生の子どもたちのユニークな発言に思わず笑ってしまう場面もありました。子どもたちは副大臣の訪問にも特別な緊張感もなく、普段どおりの授業の姿を見せていました。

中学生はテスト期間だったため、参観は行いませんでしたが、真剣にテストに向かう子どもたちの姿を窓越しにご覧になっていました。



## ◆秋休み中の校舎利用について◆

8月22日(土)から30日(日)の間、日本人学校は秋休みとなります。プールや図書室の開放は行っていますので、ご利用ください。鍵が開いていても許可なく新校舎や体育館などに入ることはいけません。もし、何かの必要があつて入りたい場合は、職員室に日直の職員がおりますので必ず連絡をお願いします。



## ◆エマ先生ご結婚◆

本校の英語講師である「エマ・イトウ」先生が8月10日(月)にめでたく結婚式を挙げられました。おめでとうございます♪

旦那様がわざわざ学校にあいさつのためにおいでになりました。オーストラリアの方だそうです。末永くお幸せに！エマ先生は、これからも日本人学校の英語講師を続けられます。

## 7・8月の転出入(8月21日まで)

転 入 +5名		転 出 -26名	
金木 凜太郎(小3)	釣 和侍(小3)	平岡 優希(小5)	
上村 碧唯(小3)	谷川 花凜(中1)	平岡 和真(小2)	
花房 興(小1)	谷川 大和(小5)	東 美緒(中2)	
小倉 由依(小4)	川口 慈温(小1)	東 里穂(小6)	
麥倉 世梨奈(小3)	石田 凜(小1)	東 優衣(小4)	
	柴邨 創汰(小3)	山形 統優(中2)	
	嶋田 佐津(小5)	都竹 奈々香(中2)	
	川谷 碧士(小3)	都竹 良輔(中1)	
	川谷 蒼空(小3)	都竹 佑斗(小5)	
	今浦 良映(中2)	桜谷 太郎(小5)	
	今浦 礼那(小5)	桜谷 洋太(小2)	
	今浦 秀亮(小3)	永田 遼真(中1)	
	小野 智晶(小2)	永田 和樹(小6)	

現在の児童生徒数：計249名

# いい授業をめざして、先生も勉強中!

7月29日(水)に、3年1組の研究授業が行われました。どのような授業を行うことで子どもたちの表現力を高めていくことができるかを、具体的な授業での実践を通して考えていくことが目的です。

授業の後の協議会でもグループごとに様々な意見が出されました。職員も少しでも授業をよいものにしていこうと勉強を続けています。本年度は年間3回の研究授業が実施される予定です。



